

## 5月田植えと1株3～4本植えで良質茎を!!

初期生育の遅れは「中干し開始」の遅れとなり、過剰生育による品質低下につながります。  
ガス抜き作業と地温の上昇により、根張りを良くしましょう。

### 【田植え・初期管理のポイント】

※コシヒカリの田植えは5月に入ってから!

風の強い日は植傷みするので田植えは行わない!

- ① 植え付け株数・・・60株/坪 (高地力田・倒伏田では50株/坪)
- ② 植え付け本数・・・3～4本/1株 (1～2本植えでも補植はしない)
- ③ 植え付け深さ・・・2cm程度 (深植えは分けつの発生が遅れます!)
- ④ 田植え後はすみやかに入水!! 活着までは5～10cm程度の深水管理で植傷みを防ぐ
- ⑤ 活着したら2～3cmの浅水管理(低温・強風時は深水)で、地温を上げ、稲を元気にしよう。
- ⑥ 水を入れるのは早朝か夕方。 昼間は水温を上昇させましょう。
- ⑦ 5月中下旬の温暖な日に水を落とし、軽い田干し(ガス抜き)を2～3回繰り返しましょう。

### 【初・中期害虫、葉いもち等の防除(箱施薬剤)】

※JA育苗センターからの購入苗で、箱施薬剤(ファーストオリゼプリンス粒剤6)散布済み苗を購入された方は、薬剤散布をしないで下さい!!

薬剤名	使用量	使用時期	対象病虫害
Dr.オリゼフェルテラ粒剤	50g/箱	緑化期～ 移植当日	イネズゾウムシ・イネドロオウムシ いもち病・白葉枯病
ブイゲットフェルテラ粒剤	50g/箱	緑化期～ 移植当日	イネズゾウムシ・イネドロオウムシ いもち病・白葉枯病

- ※ 水稻ハウスで野菜を栽培する場合は、ハウス内での散布は避けて、田植え前に圃場周辺で散布しましょう。
- ※ 箱施薬剤は、育苗箱から薬剤がこぼれ落ちないように注意して散布しましょう。
- ※ 散布量が少ないと十分な効果が得られないので、規定の散布量を守りましょう。
- ※ 箱施薬剤が葉や茎に付着していると、薬害を起こす場合があるので、散布後は軽く払い落してから散水し、薬剤を床土におちつかせましょう。

**農作業時は安全に配慮し、事故のないよう十分気をつけましょう!**

中干しは、田植え一ヶ月後を目安に開始しましょう!

生産履歴とGAPを的確に記帳しましょう!

浅水で代かきし、田植え前に濁り水を排水しないようにしましょう!

機械作業時は過信せず、安全確認を十分に！

倉庫でのネズミ防除のポイント！(駆除剤は絶対に使用しない)

# 【除草剤の使用時期】

※除草剤散布後7日間は湛水状態を保ち、落水・かけ流しはしない!!

## 一般的な体系処理(昨年雑草が目立ったほ場)

※下記の表は散布適期です。(登録内容ではありません)

田植後日数		0	5	10	15	20	25	30
代かき	田植え	同時可能	ソルネット1キロ粒剤 (1kg/10a)		シリウスエグザ1キロ粒剤 (1kg/10a)			
			ベクサーフロアブル (500ml/10a)		ノビエ2.5葉期まで			
一発処理	田植え	同時可能	移植時からノビエ1葉期まで		ノビエ4葉期まで			
					レブラス1キロ粒剤 (1kg/10a)			
				ノビエ4葉期まで				

クリンチャー粒剤・液剤  
クリンチャーバスME液剤  
ワイドアタックSC

田植後日数		0	5	10	15	20	
代かき	田植え	田植え同時処理可	ガンガン1キロ粒剤 (1kg/10a)			ノビエ3.0葉期まで	
			シリウスエグザ1キロ粒剤 (1kg/10a)			ノビエ2.5葉期まで	
			バッチリLX1キロ粒剤 (1kg/10a)			ノビエ2.5葉期まで	
			ゴエモン1キロ粒剤 (1kg/10a)			ノビエ2.5葉期まで	

## 省力除草方法(動力散布機を使用しない)

田植後日数		0	1	5	10	15	
代かき	田植え	田植直後可	バッチリジャンボ (400g/10a)			ノビエ2.5葉期まで	
			バッチリフロアブル (500ml/10a)			ノビエ2.5葉期まで	
			ガンガン豆つぶ250 (250g/10a)			ノビエ2.5葉期まで	

※深水で散布して下さい。また藻類・表層はく離の発生している圃場では使用しない。

### 【田植同時散布の注意点】

- ① 代かきは丁寧に行い、田面をできるだけ均平にする。
- ② ひたひた状態の湛水条件で田植えする。
- ③ 補植は行わない。
- ④ 強風の際は田植えを控える。(薬害の恐れあり)
- ⑤ 薬剤散布後は効果を高めるため、すみやかに入水する。

### 【除草剤使用上の留意点】

- ① 田植え前の初期剤散布はしないで下さい。
- ② 藻類・表層はく離の発生前に散布する。
- ③ フロアブル剤・ジャンボ剤は、水深5cm・藻類の発生前に手散布する。  
(幅30m以下のほ場では畦畔からのみの散布で全体に拡散します。)
- ④ マメットSM1キロ粒剤を使用する場合は、夕方に散布を行う。
- ⑤ 前年と異なる品種を作付けするほ場では、漏生対策として初期剤(ソルネット1キロ粒剤・ベクサーフロアブル)を散布する。

くわしいことは、営農指導員にお尋ねください。